

令和5年5月定例教育委員会会議録

1 日 時 令和5年5月25日(木) 午後3時

2 場 所 氷見市役所 教育委員会室

3 出席者 鎌仲徹也教育長、湖東政俊職務代理者、北鹿渡文照委員、關野洋香委員

4 職務のため出席した事務局員

泉澤教育次長、濱井参事、萩原学校教育課長、布尾文化振興課長、西島スポーツ振興課長、山口教育総合センター所長、坂下給食センター所長、清水図書館長、小谷博物館長、砂山学校教育課長補佐、田邊スポーツ振興課長補佐

5 協議事項

【付議案件】

(1) 案件第1号 令和5年度6月補正予算(案)について(学校教育課ほか)

【報告案件】

(1) 報告第1号 教科書展示会について(教育総合センター)

(2) 報告第2号 令和5年度氷見の歴史・民俗講座の開催について(博物館)

6 会議内容

(1) 教育長の挨拶

(2) 教育長の報告

令和5年4月28日(金)から5月25日(木)までの教育委員会所管事項を、鎌仲教育長が報告した。

[質疑応答]

・教務主任について

委 員 任命は校内人事か。

事 務 局 校内人事である。

委 員 委員会が指名することはないのか。

事 務 局 案は持っているが、校長に任せている。

・小学校連合体育大会について

委 員 かつてはソフトボール投げがあった。氷見市は野球やハンドボールが盛んであることから、そういった競技があれば生徒は自信をもって取り組めるであろう。例えば、ハンドボール投げ、ソフトボール投げなどはどうか。また、幅跳びなども考えられる。

委員	短距離走とハードルがあったが、いずれの競技も足の速い生徒が上位となり、あまり違いがでない。
委員	ハードルの高さが低いため走力で決まってくる。
委員	走る・跳ぶ・投げるが揃ったほうがよい。
事務局	競技内容については。校長会長とも話していた。来年度は、フィールドを使った競技も検討するよう伝える。

(3) 協議内容

案件第1号は萩原学校教育課長が説明し可決された。報告案件について報告第1号は山口教育総合センター所長が、報告第2号は小谷博物館長が説明・報告した。

[質疑応答]

・灘浦小学校の市民プールでの水泳指導について

委員	経緯と利用する利点について聞きたい。
事務局	<p>灘浦小学校は旧宇波小学校のプールを使用しており、水泳指導だけではなく管理についても学校間を行き来していた。そのため、薬剤を入れる等の管理を担う教職員等の負担も大きかった。</p> <p>市民プールで水泳指導ができれば、負担も軽減でき、天候に左右されずに行うことができることから、1年ほど前から要望が出ていた。</p> <p>教育委員会としては、授業以外に夏休みのプール開放もあるため、まずは学校から保護者に説明し、意向を確認するよう伝えていた。そして、コロナが5類移行になる前の4月に灘浦小学校に確認をしたところ、保護者からはプール当番の負担が大きく、夏休みのプール開放は体制の維持が難しいため、市民プールの利用をお願いしたいとのことであった。</p> <p>市民プールを管理する体協へは、年間5回程度の利用であることを伝え了承いただいた。灘浦小学校は全校生徒が一度で利用できる人数であることから、利用回数を抑えることができた。他の学校については体協側の体制を整える必要があるため、実施は困難である。</p>
委員	今後、灘浦小学校のプール(旧宇波小プール)はどうなるのか。
事務局	将来的には解体すると思うが、現状はそのままとしたい。
委員	プールの水は入ったままか。
事務局	水を抜くと劣化が進む。
委員	安全上の懸念がある。
事務局	使用しない場合は何れのプールも施錠している。
委員	他の学校から市民プールを利用したいと声が上がったときの対応はどうするのか。

事務局 市民プールの受け入れ体制が整っていないため、現状は灘浦小学校に限っての利用としている。使用する生徒数が増えると、プールを開ける日数も増えることから、現状では出来ないと体協から聞いている。

事務局 夏休みのプール開放の代替措置としては、市民プールの利用券5回分を生徒に配付することとしている。

・教科書展示会について

委員 図書館で行うとなっているが、その場に誰がいるのか。

事務局 担当の先生のほか、センターの職員が14日間当番を決めて対応する。

(4) 6月の行事予定を各所属長等が説明した。

(5) 6月の定例教育委員会議の開催を6月29日(木)午後3時45分に変更し決定した。7月の定例教育委員会の開催を7月27日(木)午後3時に決定した。

(6) 閉 会 午後3時50分

教育長

教育長職務代理者

教育委員

教育委員